

# 図書館通信

最上校図書委員会 No.28 2月24

2023年 本屋大賞 4月12日発表!

どの本が本屋大賞1位になるか、予想してみましょう?

ご卒業おめでとう

3年生を送る会



2月20日(月)12時40分から、図書館司書室で3年生を送る会を行いました。中川大夢さんは委員長として大澤こころさんは2年生からの参加でしたが、菅利穂さんは3年間、委員として、新しい企画の提案や積極的な活動をしてくれた3人で委員会を盛り上げてくれました。

3年間本当にご苦労様でした。

まだまだ、新型コロナウイルスの治まらない中、図書館での感染対策を考えながら、委員会企画を行うことが出来、後輩にしっかり仕事の引き継ぎが出来たようです。

3年生からは、後輩達への感謝と期待の言葉が発表されました。

在校生一人一人からは、3年間の慰労と4月から進学、就職する先輩方に激励の言葉が発表され、色紙を渡すことができました。短い時間ではありましたが、3年生からのバトンをしっかり継げたようです。



## 2023年ノミネート作決定! 本屋大賞



- 『川のほとりに立つ者は』 寺地はるな (著)
- 『君のクイズ』 小川哲 (著)
- 『宙ごはん』 町田そのこ (著)
- 『月の立つ林で』 青山美智子 (著)
- 『汝、星のごとく』 凧良ゆう (著)
- 『方舟』 夕木春央 (著)
- 『#真相をお話しします』 結城真一郎 (著)
- 『爆弾』 呉勝浩 (著)
- 『光りのとこにいてね』 一穂ミチ (著)
- 『ラブカは静かに弓を待つ』 安壇美緒 (著)

# 高校生に読んでほしいベストセラー！



## 恋する本！

『かくしごと』 住野よる著

5人の高校生、それぞれの秘密。ドキドキがとまらない最高の青春小説。

『今夜、もし僕がい死ななければ』 浅原ナオト著

優しくして弱い人間が、一番人を傷つける。

『きみはポラリス』 三浦しをん著

恋に正解なんてない。悩める君に捧ぐ最強の恋愛小説。

『きらきらひかる』 江國香織著

紺くんが赤ちゃんを産めればいいのに。アル中の妻にゲイの夫、そして夫の彼氏。

『若きウェルテルの悩み』 ゲーテ著

好きになった人には、恋人がいた。叶わぬ恋に苦しむ、すべての人に。

## 熱くなる本！

『明るい夜に』 佐藤多佳子著

一人でいたいのに、誰かと繋がりたい。

リアルな心模様が眩しい青春小説。

『楽園のキャンパス』 原田マハ著

7日間で真実をつきとめろ。愛と芸術が誘う、極上ミステリ。

『クジラアタマの王様』 伊坂幸太郎著

どう考えても絶体絶命。新型ウイルス？図らずも未来を予見した長編。

『十五少年漂流記』 ヴェルヌ著

そうだ。大人たちは一人もいないのだ。見知らぬ岸边に漂着した十五人の少年たち。生きるためにあらゆる知恵と勇気と好奇心を発揮する冒険の日々が始まった。



## 考える本！

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 プレディみかこ著

泣いて、笑って、考えて。思春期のぼくとパンクな母ちゃんのリアルストーリー。

『それでも、日本人は戦争を選んだ』 加藤陽子著

日清日露から、敗戦まで。どうして、人々は繰り返して戦争に熱狂したのか？

『山椒大夫・高瀬舟』 森鷗外著

犠牲の意味を問う山椒大夫。安楽死の問題を見つめた高瀬舟。

## 驚ろく本！

『何者』 朝井リョウ著

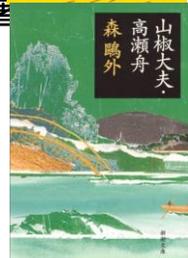
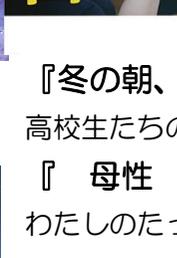
就活とSNSが暴き出す生々しい本音。衝撃のラストがあなたを襲う。

『冬の朝、そっと担任を突き落とす』 白河三瑛著

高校生たちの青春と贖罪の物語。

『母性』 湊かなえ著

わたしのたった一つの望みは母に優しく触れてもらうことだった



## 泣ける本！

『博士の愛した数式』 小川洋子著

記憶力を失った博士との幸福な日々。あまりに切なく、暖かい奇跡の物語。

『夜のピクニック』 恩田陸著

夜だから、いつものみんなも違って見える。私も少し、勇気を出せる。

『あしながおじさん』 シーン・ウェブスター著

わたしはあなたのもので、あなたはわたしのもので。

※ベストセラーといわれるには訳がある。ぜひ、図書館へ

